

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18530521

研究課題名（和文） 高機能広汎性発達障害児の社会性障害とファンタジー世界への傾倒

研究課題名（英文） Devotion to the Fantastic World in High Functioning autism

研究代表者

神園 幸郎（KAMIZONO SACHIRO）

国立大学法人琉球大学・教育学部・教授

研究者番号：70149334

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：心理学・発達障害

キーワード：高機能自閉症、ファンタジー、コミュニケーション、情動、固執行動、防衛機制

1. 研究計画の概要

高機能広汎性発達障害児の社会性の発達を阻むファンタジー世界への傾倒現象は、「特定の他者」が愛着対象となる局面を契機として出現すると的事実に基づき、ファンタジー世界への傾倒を防ぐ上で複数の特定の他者との関係を一定の時間的ズレをもって、多重的に形成することが効果を持ちうるかどうかを検証することを第1の目的とする。目的1の結果に基づいて、小集団および学級集団における対人社会性の形成に関わる指導プログラムを構築することを第2の目的とする。以上の研究結果を基盤として、高機能広汎性発達障害児の社会性障害に対する特別支援教育の基本的な指針を提言することを第3の目的とする。

2. 研究の進捗状況

(1) 自閉症児に特徴的に見られるファンタジー（以下、自閉的ファンタジー）の展開には情動状態が深く関係しており、正負いずれの情動であれ、強い情動と結びついた過去の体験がファンタジーに登場すると、そのことがファンタジーの展開に抑制的に作用した。

(2) こだわり行動の発達変化の観察から、こだわり行動が単なるモノそのものへの固執から、モノの操作への固執、質問嗜好といったモノの意味への固執を経てファンタジーへ変貌していく道筋が確認された。このことから、こだわり行動が自閉的ファンタジーの有力な起源として想定された。こだわり行動が自閉的ファンタジーとして変貌する背景には、行動水準から表象水準へ動機づける

主体の側の認知や言語の発達変化が重要な駆動因として作用していることが仮定された。

(3) 高機能広汎性発達障害児におけるファンタジーへの没入現象については、従来から指摘されている対人的な不安や恐怖に対する防衛機制としての出現契機に加えて、特定の他者の行動モデルを取り込み安定的な二者関係を構築した後に自我の自由度を保障しようとして出現する契機もあることが確認された。前者の特徴の強いファンタジーは離脱への抵抗が高いため、不安や不快要因を軽減することでファンタジー没入への契機を防ぐ支援方法が効果的であり、後者の自我の自由度を保障する、いわば、娯楽的なファンタジーは没入時の特定が難しい反面、授業開始のチャイムや教師の声かけで容易に離脱が実現することから、離脱時点に重点を置く支援方法が効果的であることが示唆された。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

（理由）時間的ズレを伴う対人関係の多重形成が自閉的ファンタジーへの没入を防ぐ効果を持ちうるかについては、未だ十分な確証が得られているとは言い難い。しかしながら、自閉的ファンタジーの生成過程が解明されてきたことから、ファンタジーへの没入を防ぐプログラムが構築されつつある。

4. 今後の研究の推進方策

今後は、指導プログラムを構築し、その効果の検証を通してプログラムの完成度を高

めるための取り組みを行う。そして、高機能広汎性発達障害児の社会性障害を改善するための基本的な枠組みを提案したい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

- ① 松島はるか、神園幸郎、ある高機能自閉症児の「指さし行動」の特徴、琉球大学教育学部障害児教育実践センター紀要、第 8 号、57-67、2007、査読無し
- ② 大城理恵、神園幸郎、高機能自閉症児における社会性の発達と描画の変化、琉球大学教育学部障害児教育実践センター紀要、第 9 号、81-92、2008、査読無し

[学会発表] (計 4 件)

- ① 湧川華奈子、神園幸郎、高機能自閉症児の社会性障害とファンタジー世界への傾倒、日本特殊教育学会第 44 回大会、2006 年 9 月 17 日、群馬大学荒牧キャンパス
- ② 山口勇馬、神園幸郎、通常の学級における自閉性障害児への教育的支援の在り方、日本発達障害学会第 42 回大会、2007 年 8 月 5 日、山口県立大学看護学部棟
- ③ 山口勇馬、神園幸郎、小学校における自閉症児への支援の在り方(1) — 原初的知覚を枠組みとした行動の理解 —、自閉症スペクトラム学会第 7 回研究大会、2008 年 9 月 13 日、東北大学川内キャンパス
- ④ 宮里秀太郎・神園幸郎、広汎性発達障害者における自閉的ファンタジー—自閉的ファンタジーの特徴を中心として—、日本特殊教育学会第 46 回大会、2008 年 9 月 20 日、米子市文化ホール